## 殊を庭にのに年を照けば配はて、日常 に に 家か 邁走一 薬で日を薬で出る露っ 赤赤領は庭に進た日ら劑に露るに 征に戦ぎ 星に布が置ましの 師し 戦ぎ 奮之し 等ま 争まり 等。 闘き傷き 薬をて 如をと にこ 0 3 1 後一一 病等陸炎 F. な はね n 來語を 各でる 兵。軍災 ラ h 信比島秀赤泰藥文爾中布。 赤ま士と薬さ して 見で 製造 用,同,星色劑是來為 官是 三十六 胞は見り奉き 2 を t の壽は仕し 博は は 哇?氏い劑! 家が氏しら カ

元2~ 老多 、デ 信认 氏 赤青 頼にネ 0 あ 星世衛於K 3 氏上生tG る n は講がU 特 7 布へ座。日らわ 効か 味?も 本にる 薬や評論語で、 齊に判じ放き赤まし 師いが送る星にて サ見り最多 よ

寸と體に 申素 部等夏か 場を購かし 見光 0) P 御為 氣會 K 初览 才 券に入るた 其がし + A 願如 日ち 7 旅どて を きた 上声 めて 真算 0 げ フ 記書 行が大震 U 無かた 叶心 2 0 H 卒業生を 申を 代だ方案れ 記書中 0 記まに き n 七 意い 朝 カ 念な を でがは を ネオ 徳さ た上あ 此。 見以 誌し 野。 0 -げ につ を 星点映点部\*\* の を 名以 太た 8 ほん 度な 煩智 度な ^ 出だ す 平し交か 畫。廿 8 し 士山 いうせん 候か は は Fi る 題だ洋常 の 7 換記 8 0 御四 ハ た 夕穹仙岸發きす 3 本言今公 は 事を必ず茶事等和かと O K K 昨 で 7 7 とて 要なを 入にて な 初曾 生は年之父か め る 兄は學が かう 0 君 在本新之間な課念 0 學がに 0 社 K 期。極為重點 た 會 苦 め き K 1 は 7 智 2 多だ好が置お 數,評學 MITO 本本人